

小中学生向け ひらがなインターネット 「ひらがなナビィ」新発表

日本初、自動ひらがな変換システムを新開発、1年間無料提供を開始。



株式会社富士通ラーニングメディア(代表取締役社長:金子武彦、本社:東京都大田区)は、平成10年度の通産省補正予算による教育の情報化推進事業の一環として、インターネット上の漢字情報をひらがなに変換して表示するインターネットブラウザ『ひらがなナビィ』を開発し、全国の小学校及び一般家庭を対象にして1年間の無料頒布を開始します。今回、富士通ラーニングメディアが開発した『ひらがなナビィ』は、利用者(クライアント)側にてひらがな変換をする日本初のソフトウェアです。

なお、サーバ向け学年別ひらがな変換システムについては、[国立オリンピック記念青少年総合センター](#)殿と富士通が共同開発して、平成11年7月より「子ども情報センター」で運用されています。

【ひらがなナビィの特徴】

『ひらがなナビィ』は、ホームページの漢字情報をクライアント側の指定により、ひらがなに変換するものです。利用する児童の学習レベルに適したひらがな変換を提供するために、学年別漢字配当表を基本に、漢字をひらがなに変換します。また、ひらがなの表示方法も、『ひらがなのみ』、『わかちがき』、『かっこ』、『ふりがな』、『ふきだし』の5種類の設定ができるようになっています。

また、ひらがな変換は、富士通の日本語ワープロ「OASYS」で長年培ってきた「日本語処理技術」をもとに開発されました。特に、約13万語の基本辞書をもつ日本語解析処理部分は、正確に文章の解析を行い、高品質なひらがな変換を提供しています。

【開発背景】

現在、インターネット情報は、常用漢字を中心に構成されており、小学生など学年によっては判読不可能な情報も数多く存在します。2005年度には小中高等学校の全教室がインターネットで結ばれ、積極的に教育に取り入れられて行く現在、子どもが一人で利用できるインターネット環境が望まれていました。

今回発表する『ひらがなナビィ』は、このような現状下、インターネット上の漢字情報を学年単位でひらがな変換して表示し漢字情報を取り去ることにより、子どもがより気軽にインターネット情報が利用できるようになります。

【開発に際しての実証実験】

開発に際して、昨年度、3ヶ月にわたり合計209名の子どもに対し、『ひらがなナビィ』を利用したインターネット実証実験を実施しました。学習時には通常の大人向けブラウザと『ひらがなナビィ』の両方を使用し、効果的なインターネットの活用方法についてを比較検証しました。その結果、インターネット上の情報をひらがなに変換できる『ひらがなナビィ』の方が、インターネット学習においてより効果的であったことが実証されました。また、教員や保護者の方の評判も良く、1日も早い製品化が望まれています。

【提供形態】1年間 無料ダウンロードサービス

【今後の展開】

将来的には『ひらがなナビィ』を中心に小学生の子どもに対し、インターネット上の有害サイトを排除する『フィルタリングソフト』の開発、インターネット上において親子で楽しめるコミュニケーション広場の開設を予定しています。ネットワーク中心の充実した『ひらがなナビィ』ファミリーを形成いたします。

【推奨動作環境】

- 対応機種 : FM-Vシリーズを含むPC/AT互換機
- CPU : Pentium133MHz以上
- 基本ソフトウェア : 日本語Microsoft Windows95 またはWindows98日本語版
- RAM : 64MB以上
- ハードディスク : 10MB以上の空き容量が必要
- その他 : Microsoft InternetExplorer5必須
(IE4でも動作可、但し一部制限あり)

【サービス開始日】平成12年5月8日

【ダウンロード目標】1年間で30,000本のダウンロードを見込んでいます。

【ダウンロード方法】

富士通ラーニングメディアの公開サーバからのダウンロード

URL <http://www.flm.co.jp/kids/>

容量約4MB

【お客様お問い合わせ先】

株式会社 富士通ラーニングメディア

営業推進部

TEL:03-3730-3175

E-mail: webmaster@flm.co.jp

【報道関係お問い合わせ先】

株式会社 富士通ラーニングメディア

広報担当 富田

TEL:03-3730-3175

E-mail: tomita@flm.se.fujitsu.co.jp